



## あいちの学童保育

県連協ニュースNo. 4号  
 2018年8月07日発行  
 愛知学童保育連絡協議会  
 TEL:052-872-1972 FAX:052-308-3324  
 Email:aichigakudou@gakudou.biz  
 http://gakudou.me/aichikenrenkyou/

4月から6月にかけて各地域で行われた総会に県連協としても参加させて頂きました。それぞれに特色ある総会は、集う保護者や学童保育指導員の思い、これまでの長い道のりを感じます。地域が抱える課題は多々ありますが、元気いっぱい、仲間を大切にしたい総会にパワーをもらいました。地域総会特集、どうぞ一読ください。



### 安城市連協

4月8日(日)9時～、安城市民会館において、総会が開催されました。

来賓も多数参加するなか、つくしクラブとひまわりクラブの保護者と学童保育指導員をあわせ、約30名程度の参加です。総括や決算や方針や予算などの承認事項のほか、両クラブからの近況報告や来賓からのコメントなどの意見も交換されました。

安城市内には、民間運営(保護者会など)の学童保育所が4か所あります(2017年度末

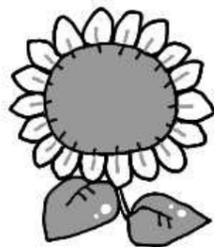


で、みつばちぶんぶんクラブが閉所)。安城市連協は、そのうちの2クラブで構成しています。なかよしクラブと池浦児童クラブが市連協に未加盟

です。

今後の市連協の組織拡大は、2018年度以降の大きなテーマであり、安城の学童保育の発展には欠かせない課題です。

そんな展望も視野に入れ、来年度の『学童保育ひろば』の開催地として意気込み、今年度の抱負を語る頼もしい市連協会長の姿が印象的でした。



### 豊明市 太陽広場クラブ

4月14日(土) 19:00～20:00、豊明太陽広場クラブの

総会が開催されました。年度初めの父母会の延長で行われ、新入所世帯の保護者も参加しての総会です。規約や保育料、年間行事などもていねいに確認されました。

今年度は14世帯、子どもは17名です。総会には保護者13名(学童保育指導員1名)が参加していましたから、ほぼ全員が参加したことになります。

新入所の3名の保護者も積極的に父母会の役割を引き受けているのが印象的でした。

豊明は公営が中心、他の運営主体もある中、太陽広場を選び、仲間に加わりました。

多くの地域と同じく、太陽広場クラブでも指導員不足は深刻です。長年勤められたパート職員が一人退職し、いま(総会時点)は正規一人体制です。パート、学生バイトも入りますが苦しい体制となっています。

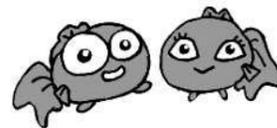
仲の良い保護者たちの一致団結した力で、長く太陽広場クラブを支えてきた学童保育指導員と一緒に、道を切り開いてほしいと願っています。



### 春日井学童保育ネットワーク

4月15日(日)9:30～11:00、レディヤン春日井にて春日井学童保育ネットワークの総会が行われました。

参加者は保護者、学童保育指導員合わせて16名です。



代表理事の挨拶に始まり、年間活動報告と総括、指導員会報告、合同運動会報告、決算予算、新年度方針、役員改選とつづきました。

学童保育指導員組合代表も参加をしています。

民間学童保育、春日井市子どもの家を受託して運営している学童保育と運営主体の違いがありながらもネットワークとして活動を続けています。ネットワーク主催の交流会も工夫をこらし、運動会など活発な取り組みも行っています。

春日井は地域によってはかなり待機児童が出ており、年々増える一方です。学童保育も大規模化しており学童保育指導員の負担も重くのしかかっています。

今年度は学童保育所が不足している地域に子どもの家を増設し待機児童をなくすことを求めて署名活動を行いました。行政、議会、地域へこつこつと働きかけを

続けています。



総会報告裏面へ続きます

## 大府市連協

4月15日(日)14:30～大府市公民館にて総会が開催されました。

大府市連協は、2つの民営学童保育で構成しています。活動報告や総括、予算案などの他に、各学童保育の紹介も併せて行われました。

特に各々の学童保育所を背負い担っている若い学童保育指導員が普段の保育の様子を織り交ぜながらのプレゼンをしたことで、参加された議員も大きく頷いて関心を持たれたようでした。



30分程度でしたが無事、終了し、ほっとする保護者や学童保育指導員の顔を見て、「お疲れ～」と声がかかっていました。



## 犬山市連協

4月21日(土)7時～新旧役員を中心として約60名の参加で総会が開催されました。

児童センター長、児童館長、暮らしを守る会など来賓を招き、挨拶をいただきました。

年度が替わる度にまったく新しい顔ぶれになりますが、少しずつ変化も見られます。皆がもっと情報が行き渡るようにと、前年度からの提案もあり、今年度からは議事録をとる役割をつくり、SNSで共有することとなりました。

児童館や児童センターから学校内への移転方針で毎年1カ所ずつ移転が始まっています。昨年度は初めて

担当課を招いて懇談を行いました。市連協行事も昨年度から工夫をこらした親子行事になりました。1つずつでも前に進むことを大切に、皆で考え合う1年が始まりました。



## 名古屋市連協

4月22日(日)13時から名古屋市中区にある「イーブルなごや」大ホールで、第38回定期総会が開かれました。参加者約150名。冒頭の式典では、壇上に市議会各会派の代表者と、関係諸団体から6名が並び、来賓として挨拶がありました。

名古屋の学童保育は、市連協が地域や議員と一緒に、行政と連携しながら施策が前進し、予算も大きく増えてきています。

今回の総会では、民設民営の運営の中で最も厳しい課題である「土地確保・施設確保」についても新たな展開が報告されました。「都市公園法」の改正を契機に、一定の条件の下で公園内に学童保育所施設をつくることを可能とする方針が市から打ち出され、動き出しているというものです。2019年度着工に向けて、この4月から、市内の学童保育所に設置申請の申出が広報されています。

もうひとつの差し迫った課題は「学童保育指導員の確保・雇用の安定」です。将来の名古屋の学童保育の姿を見据えた、地域の複数の学童保育所による合同運営の「制度化」を目指すなどの運動方針が提案され採択されました。



名古屋市連協の運動が多くの実りを獲得してきているのはなぜ？再任された池田会長は挨拶の中で「多くの保護者が学童保育に関わっていること、経験の長い学童保育指導員が多いこと、保護者と学童保育指導員がタッグを組み子どもをまんやかにした保育をしていること」が基本にあるから、と話されました。そして市連協自身、今後の名古屋市の学童保育がどうあるべきかを考えていくことがもっと必要になる、と呼びかけました。県でも、市町でも、連絡協議会として大切にしたいことです。

## 豊川市連協

5月11日(金)すきっぷくらぶにて開催された総会は今年で第4回を迎えます。2回目の総会から、定例会の日、夜に行い、何よりも市連協を構成する学童保育指導員、保護者の振り返りとスタートの総会という位置づけで行っています。

夜にもかかわらず小学校校長2名と担当課が来賓として最後まで参加していたのが印象的でした。定例会に担当課が参加していることや学校との関係を日頃から大切にしている表れです。

豊川は保育応援などをきっかけに福島、岩手と今で

も交流があります。陸前高田から贈られてきたサイダーをみなで飲んだり、ときには笑いもおこり終始和やかな雰囲気です。会がすすめられました。各クラブの新旧会長が自分たちの学童保育の状況と課題をしっかりと報告していました。学童保育指導員への感謝の気持ちや、学童保育を守りたいという思いがあふれているのが印象的でした。



## 津島市連協

5月13日(日)13時から、錬成館において、総会が開催されました。来賓も多数参加するなか、8クラブの保護者と学童保育指導員を合わせ、約130名程度の参加でした。



総括や決算や方針や予算などの承認事項のほか、協同するNPO法人の総会も同日開催し、8クラブからの活動報告もあり、盛りだくさんの総会となりました。

津島市連協の総会は、例年、保護者も学童保育指導員もOBも子どももたくさん参加します。

2018年度から学童保育所の運営はNPO法人へとなりましたが、学童保育の保育内容の充実には保護者の参画が欠かせません。保護者の運営に対する負担をへらし、そのぶんのチカラを保育内容の充実にそそぐ。その実現可能性を感じさせる参加者数と熱気です。

総会の夜の部も盛況で、0次会、1次会、2次会、自宅まで送迎のフルコースを満喫した夜の部となりました。

## NPO法人岡崎かくどうの会

5月20日(日)14時から、「岡崎市図書館交流プラザ りぶら」会議室で第11回の定期総会が開かれました。参加者は約100名。会場満員の熱気あふれる会となりました。総会では、まず長坂理事長、次に加盟している6クラブの常勤専任学童保育指導員が、それぞれクラブ報告と挨拶に立ちます。若い新任学童保育指導員の決意表明には、会場の保護者から大きな拍手がおきました。各クラブの保育の様子を聞くことができるの

も、こじんまりとした地域連協ならではの良いところ

です。来賓としては、地元選出の衆議院議員、県会議員や市会議員多数が来場され、皆さんから「学童保育を応援していく」という挨拶がありました。また、市担当課からも複数の出席があり、挨拶を受けました。



ひとしきりの来賓挨拶が終わってから、活動の総括・方針、決算・予算、理事の選出、などの議事に入りました。

「岡崎かくどうの会」では、市への提言・要望の取り組みを行っており、「待機児童解消のための施策」「高学年保育の充実」「児童育成センター(公営学童保育)の改善」「補助金の拡大」「営利企業参入への考慮」がその柱となっています。理事と担当課の懇談を軸にしながら、一步步岡崎の学童保育を良くする取り組みを進めている印象です。学童保育所の耐震補強工事なども控えているようなので、より一層パワーアップした保護者・指導員みなで岡崎の学童保育を盛り上げて欲しいですね。

## 豊橋市連協

6月3日(日)13時から、豊橋総合福祉センターあいトピアにおいて、総会が開催されました。来賓も複数参加されるなか、25クラブの保護者と学童保育指導員を合わせ、約100名程度の参加です。

総括や決算や方針や予算などの承認事項のほか、25クラブからの活動報告も活発で、大所帯の連協らしく、さまざまな意見が交換され課題が共有されました。



各クラブの個別的な課題や問題に、市連協としてどのようにコミットしていくのか。市連協としてどこまでコミットすべきなのか、すべきでないのか。

大所帯の市連協を運営していくことの難しさを感じながらも、豊橋の学童保育がこれまで積み上げてきた運動性や経験値の重さを感じることができました。

総会の夜の部ももちろん参加。2次会は会長と豊橋駅まで熱く語り、忘れられない夜の部となりました。

